

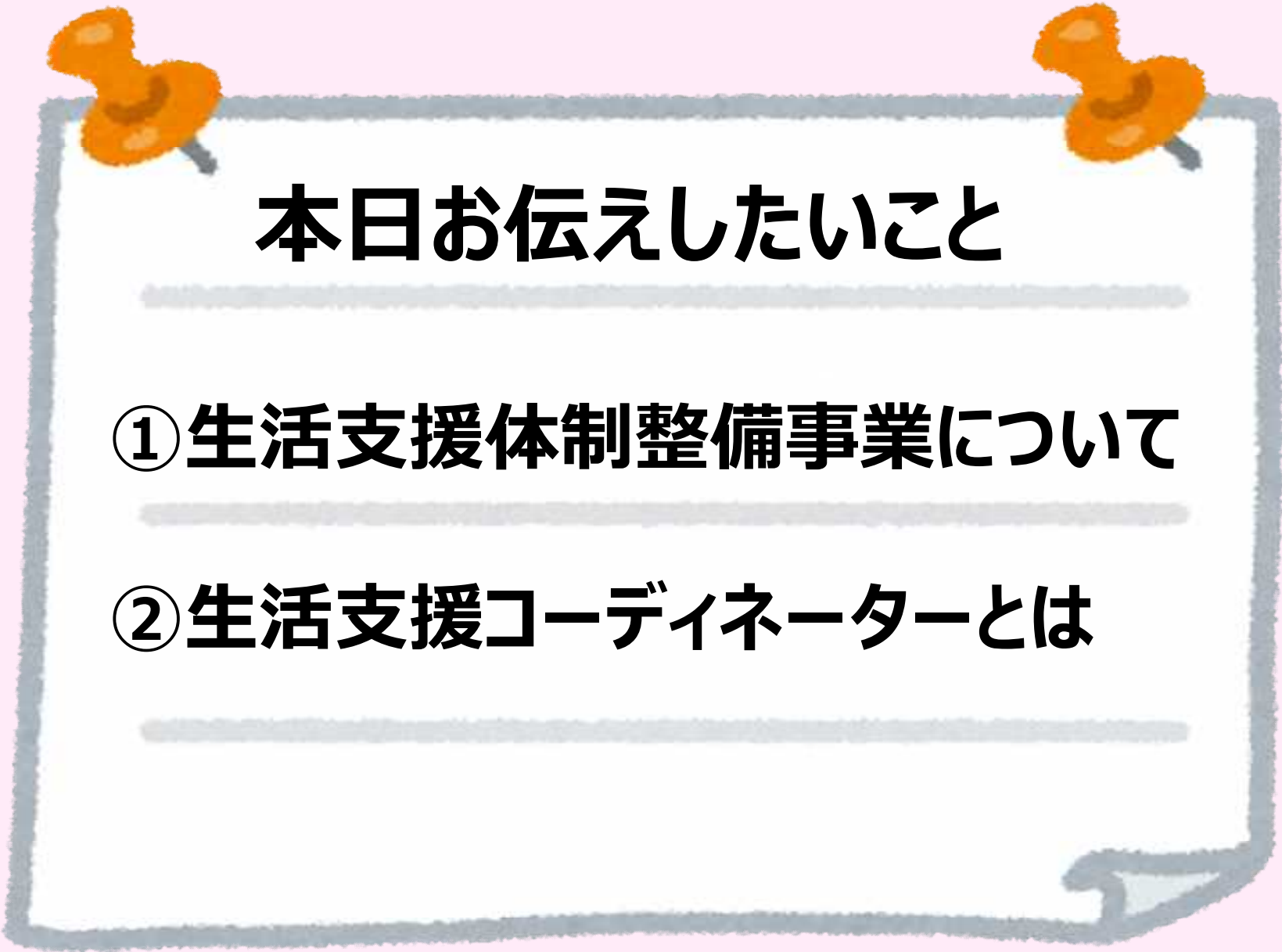
**大きく変わった介護保険制度
～住み慣れた地域で健康に生活するためには～**

生活支援体制整備事業について



埼玉県社協マスコット
シャキたまくん

**令和元年10月17日（木）
社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
地域連携課 主任 矢部 葉子**



本日お伝えしたいこと

①生活支援体制整備事業について

②生活支援コーディネーターとは

①生活支援体制整備事業について

地域包括ケアシステムイメージ図



みまもり
近所の助け合い



生きがいづくり・健康づくり・介護予防

自助

一人ひとりの取組

互助

近隣住民や
ボランティア団体の
助け合い

共助

介護保険制度や
医療保険制度

公助

社会福祉などの
行政サービス



ボランティア活動
町内会・自治会の活動
など



医療サービスの提供



法制度に基づく支援
地域づくり支援
地域マネジメント
など



介護サービスの提供

など

①生活支援体制整備事業について

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくためには・・・



買い物や通院に行けたり



健康維持（介護予防）
の機会があったり



困った時に相談する
相手が身近にいたり



ご近所や友人とのつ
ながりがあったり



多様な主体による充実し
た地域づくりが必要



ボランティア

ちょっとした困りごとを
支援してもらえたり



社会参加や役割をもつ
機会があったり



趣味を仲間と楽しめ
る居場所があったり



そこで、配置・設置されたのが 「生活支援コーディネーター」 と

「協議体（熊谷市では「協議会」）」です



高齢者が住み慣れた地域で
いきいきと暮らしていくため

地域住民の皆さんが中心
となる地域づくりや、支
え合い活動をバックアッ
プする人（つなぐプロ）



地域の困りごとに対して、
支え合いの地域づくりを
形にするため、話し合い
や情報共有、連携を進め
る集合体

例えば地域の皆さんからこんな声が・・・



自治会長

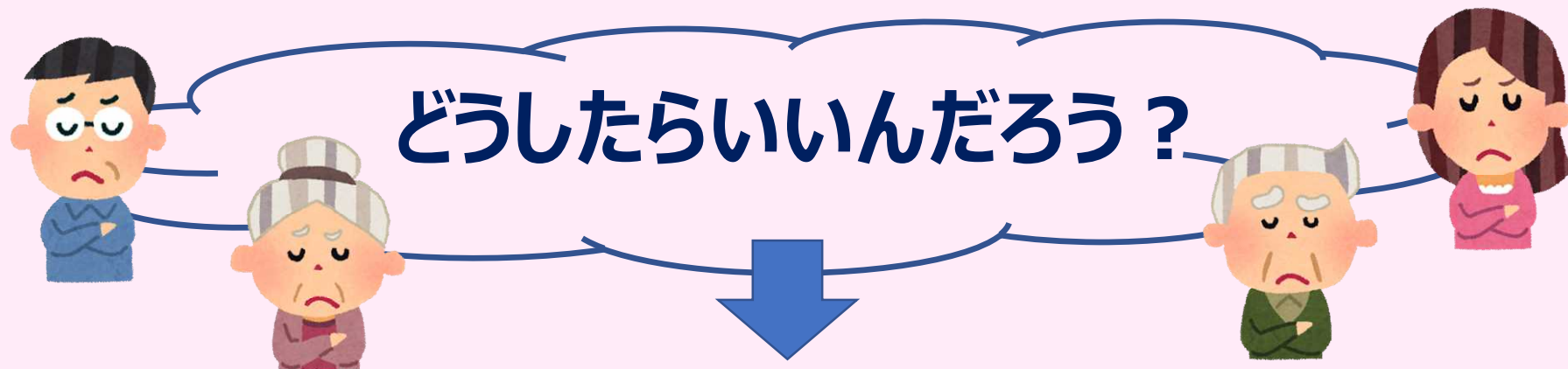
一人暮らしの高齢者や、高齢者だけの世帯が増えてきた。
みんな元気だけど、電球の交換や重い荷物が運べなかったり、日々の暮らしのちょっとしたことに困ってるという声を聞く。昔のように自然と助け合えればいいんだけど・・・

高齢になると、家から遠いサロンに行くのは大変だといって、家から出なくなる人が多い。歩いていける距離にサロンをつくりたいけれど、場所がない・・・



サロンボランティア

①生活支援体制整備事業について



みんなで話し合う場を作ろう！

地域住民の困りごとを情報収集し、見やすいように整理する

地域づくりの方向性を決めたり、みんなで共通認識を図る

活動やイベントを企画して、協力者や活動者を広げていく

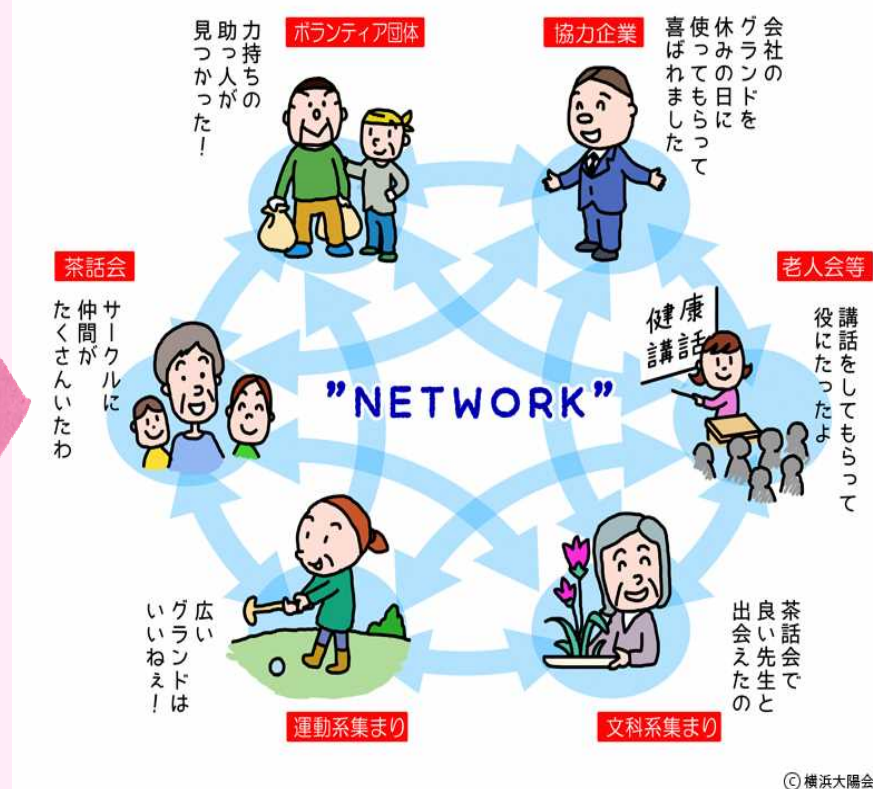
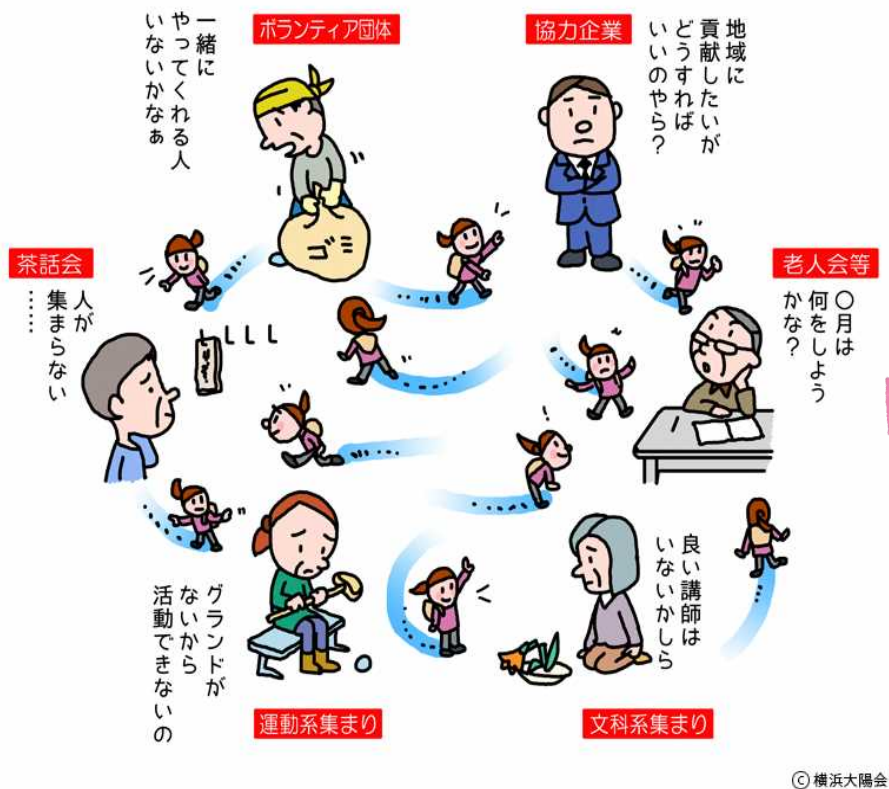
活動を広げ、地域にどんな効果があったか、効果検証する



協議体

②生活支援コーディネーターとは

生活支援コーディネーターは「つなぐプロ」



地域を回っています

- ① **集める** (地域課題や資源の情報などを)
- ② **伝える** (皆さんが必要な情報を整理し)
- ③ **思いを知る** (知り合い、相談しながら)
- ④ **場を作る** (学び合い、交流し、思いを共有する)
- ⑤ **結びつける** (地域課題と資源を、人と人を)
- ⑥ **応援する** (住民主体の地域づくりを裏方から)

②生活支援コーディネーターとは



生活支援コーディネーターは住民の皆さん（自治会、老人会、ボランティアグループなど）の活動（地域づくり）を応援しています！！



例えばこんなことが...（富士見市の例）

住民同士のつながりづくりをしたい。皆の意識が高まる勉強会ができないか。



自治会長

地域活動に参加するなど社会とつながる・役割を持つことの大切さや、健康維持にもなることなどをお話します。



生活支援コーディネーター



地区の清掃活動への参加者が
倍の人数に！！

地域の様々な活動

学習



- ・住民座談会、懇談会（ワークショップ°）
- ・勉強会、研修会、見学会

見守り・声かけ

- ・見守りネットワーク
- ・定期訪問活動
（なんでも相談）



交流

- ・サロン活動、ミニデイ、会食会
- ・イベント、お祭り、防災行事



生活支援

- ・ちょっとした困りごと支援
（買い物・ゴミ出しなど）



自治会活動がより活動しやすくなるように！！

それぞれができることを

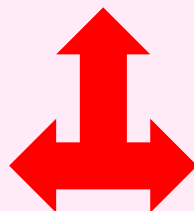
住民だからこそできること

顔の見えるお付き合いを豊かにしていく

企業や社会福祉法人
なども一緒に

行政だからこそできること

制度や仕組みを作る



**専門機関(職)だからこそ
できること**

専門的な力を発揮する

お互い力を出し合って、いろいろな問題を解決しながら、同じ地域に住む者として、ともに暮らしていける「まち」をつくることが大切！

できるときに
できることを
無理なく…＋
楽しく

ひとりの
100歩より
100人の
1歩を

ご清聴ありがとうございました。



『埼玉県社協マスコット
「シャキたまくん」』

埼玉県社会福祉協議会